

リウマチ性疾患の 症状や治療法学ぶ

富山で全国大会

日本リウマチ実地医学会が18日、富山市大手町のANAク



リウマチ性疾患の症状などが紹介された実地医学会。富山市のANAクラウンプラザホテル

ラウンプラザホテルで開かれ、全国から参加した約150人がリウマチ性疾患の症状や治療法などを学んだ。

同会のことしの当番世話人で、松野リウマチ整形外科(富山市呉羽町)の松野博明院長があいさつ。木村友厚富山大学院医学薬学研究部(医学)教授が「変形性関節症の病態と治療のエビデンス」と題し、基調講演した。木村教授は老化に伴い軟骨を組織するタンパク質の代謝が悪化し、関節が変形する病状を紹介した。開業を目指す医者らを対象としたシンポジウムや、プロ野球解説者の江本孟紀さん(64)による講演もあった。